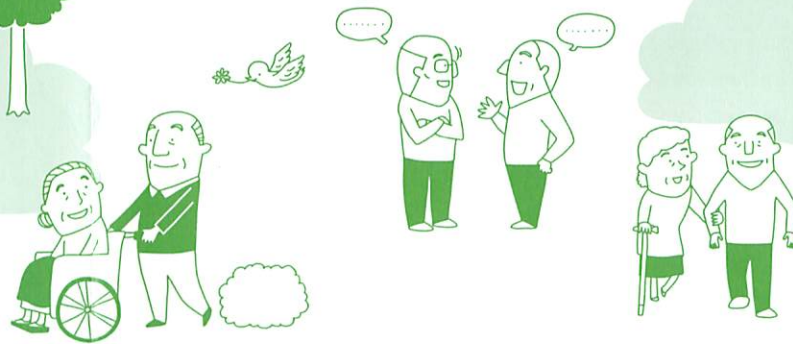


男性介護ネットとは？



男性介護者と支援者の全国ネットワーク（略称：男性介護ネット）は2009年3月に発足し、男性介護者と支援者の全国的なネットワークづくりをすすめます。



すでに介護者（ケアラー）の3人に1人は男性が占めるといふ新しい時代を迎えています。

男女が共に介護を担う社会の実現という視点から見れば喜ばしいことです。しかし他方で、男性介護者は、家事や介護のスキルを獲得する機会に乏しく、孤立化しがちであると指摘され、難しい課題も抱えています。

私たちは、介護する側もされる側も、介護を担う男性も女性も、誰もが安心して暮らせる社会になるように、次の目的で活動しています。

- 1 各地で誕生しつつある男性介護者の会や支援活動について、相互の交流や情報交換を促進します。
- 2 男性介護者の孤立の解消と地域を基盤とした男性介護者相互の支え合いの仕組みづくりを支援します。
- 3 家族介護者支援についての調査研究や政策提言も、積極的に行います。

① 「男性介護ネット」の取り組み

● 男性介護者の調査・研究の実施

男性介護者の介護実態を明らかにしながら、介護保険など支援制度のあり方や介護と仕事の両立課題、介護と経済的問題などの調査・研究を実施します。そして、要介護者支援と共にケアラー支援の必要性について積極的な政策提言を行います。

● 交流会・ワークショップ

全国の介護当事者・支援団体との交流を促進。また、各地域で男性介護者交流会を開催し、会員相互の交流や情報交換をすすめます。各地域でワークショップを行い、家族介護者の目線から「こうありたい！」介護環境を考えます。



● YouTubeでの動画配信

各地の男性介護者の活動を動画にて配信しています。下記の「ケアメンJapanチャンネル—男の介護—」(YouTube)を、ぜひ一度視聴してください。

YouTube ケアメンJapan

● 「語り部」の活動

全国の交流会や各地の会や集いでは、自身の介護体験を語り、またその声に耳を傾ける活動が盛んに取り組まれています。同じ立場であればこそ分かり合えることがたくさんあります。「語り部」の登録も進めていますので、ぜひご参加ください。

● 体験記の募集・発行

ケアラーの「経験知」は社会の共有財産です。「体験記」を読み、それぞれの貴重な介護体験が心をうち、行く手を明るくしてくれました。辞書のように手近において、繰り返し読もうと思っています(読者の感想より)



● 情報発信

<http://dansei-kaigo.jp/>

会報や資料集、Bookletなどを発行し、各地の男性介護者の会や支援活動の取り組みの紹介、介護保険情報、会員の声、介護のアドバイスなど、様々な情報を紹介します。ホームページには、情報発信の他にも、男の介護コラムやおたより、相談・交流の投稿ができるコーナーも設けています。

男性介護ネット

■ 会員の種別と年会費

正会員(個人)	正会員(団体)	賛助会員
一口 1,000円	一口 3,000円	一口 10,000円
振込先 京都小松原郵便局 00910-4-194420		

■ 会員特典

- ① 「男性介護ネットワーク通信」を送付いたします。
- ② ホームページの会員専用サイトなどで、情報の提供・交換を行います。
- ③ 男性介護ネット主催の講座・イベントについて会員価格で参加できます。

男性介護者と支援者の全国ネットワーク 入会申込書

フリガナ			
氏名	(男・女)		
生年月日	大・昭・西暦	年	月 日 歳
住所	(〒)		
連絡先	TEL		
	FAX		
	e-mail		
区分	① 介護当事者（妻・実父・実母・義父・義母 子ども [息子・娘]・その他） ② 介護経験者 ③ 支援者（ ） ④ その他（ ）		

※男性介護ネットでは、ご連絡いただいた個人情報につきましては、事務局で管理し男性介護ネットの活動以外の目的には使用いたしません。

ご入会の手順

- 1 入会申込書に必要事項をはっきりとご記入ください。
- 2 郵便局で「郵便振替用紙」を使用し、年会費をお支払いください。(会員期間は4月～3月)
- 3 入会申込書をFAXで送信するか、郵送してください。
FAX:075-466-3306
- 4 当会に入会申込書が届き、入金の確認ができれば、手続きは完了です。後日、当会より入会証をお送りします。

郵便ハガキ

63円切手をお貼りください

6 0 3 - 8 5 7 7

京都市北区等持院北町56-1
立命館大学人間科学研究所気付

男性介護者と支援者の
全国ネットワーク 行

*入会の動機、生活や介護でお困りの事、男性介護ネットへの一言メッセージ、その他自由にご記入ください。

掲載の可否：可（実名・イニシャル）・否

※お書きくださったご意見などは、本会発行の通信やホームページに掲載することがあります。

みなさんから寄せられた手記

私は一人ではない。今の多くの方々が同じ思いを抱き妻や夫を、あるいは親を介護されているのだ、と勇気付けられた。
(夫:77歳)

隣人から野菜や果物の差し入れや母親への声かけなどに、心底感謝の気持ちでいっぱいになった。
(息子:40代)

今一番大変なことは、“しもの世話”だ。それでも私がやるんだ。やる人いないもの。
(息子:55歳)

炊事、洗濯、掃除は妻がデイサービスセンターに行っている間にする。時々妻が思い出したように「お父ちゃんゴメンね」というのが嬉しい。
(夫:85歳)

推薦人 樋口恵子さんの発足会でのメッセージ

「介護は人間しかしない、他の動物は決してしない営みです。ですから、介護をすることは、人間の証明です…。
男性諸兄、介護の世界へようこそ！

真人間の世界へ、ウェルカム！
男女両性の協力で、介護が大きな化学変化を引き起こし、介護の地平が新たに拓けますように。広く、大きく、豊かに」

男性介護ネット

男性介護者と支援者の全国ネットワーク

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
立命館大学人間科学研究所気付
Tel&Fax:075-466-3306 Eメール:info@dansei-kaigo.jp

<http://dansei-kaigo.jp/>

このリーフレットは公益財団法人キリン福祉財団の助成によって作成しました

2022.2.1

Male carers and supporters' nationwide network



ひとりじゃない。
生きる勇気が
わいてきた。

入会案内



男性介護ネット

男性介護者と支援者の全国ネットワーク

<http://dansei-kaigo.jp/>